菊池正美 氏 撮影 〔富士と夕陽〕

年頭に当たり

埼玉会代表幹事　**畠山忠昭**

皆さまにおかれましては平成最後の新年をすがすがしいお心でお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年5月1日には新天皇のご即位により元号が変わりますが、くしくもこの歴史の転換期に我が埼玉会は設立10周年を迎えることになります。

従来埼玉会は本部の方針に沿い、シニアの生活の安定・向上を図り、「生きがい」を提供し高齢者の心身の健康増進と社会貢献を意識した積極的な社会参加の場づくりに努力して参りましたが、22名の幹事の企画運営努力と、イベント等への会員の皆さまのご参加により、その成果も少なからずあらわれていると感じております。ご理解とご支援をいただいている皆さまには心から感謝する次第でございます。

今後も楽しい・面白い・ためになる・イベントの企画運営に努めるとともに、更に新しい活動、例えば他の団体との繋がりを模索しながら活動の幅を広げていきたいと考えておりますので、会員の皆さまの益々のご理解・ご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

末筆となりましたが、会員の皆さま並びにご家族の皆さまの益々の安寧を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

埼玉会イベントのご案内

イベント幹事　**菊池正美**

今後のイベント予定は次のとおりです。イベントごとに詳細なご案内を致します。「参加」希望者は次ページ巻末の事務局まで ① e-mail または ② FAX でお申込みください。

1. 2019 (H 31) 4.4(木)「越生・桜の山公園」（第 43 回）
2. 2019.5.30 「2019 年度総会&講演会」と「10 周年記念パーティー」
3. 2019.6.中旬「城沼公園花菖蒲園」館林（第 44 回）
4. 2019.7.中旬「埼玉県環境科学国際センター」鴻巣（第 45 回）
5. 2019.8.上旬「納涼の会」(企画：女子会)
6. 2019.9.中旬「秩父札所巡り」秩父シリーズ No.8（第 46 回）
7. 2019.11.下旬「能仁寺」・「天覧山の紅葉」（第 47 回）

＜西東京会との合同イベント＞

8. 2020.1.上旬 「初詣・新年会」(場所未定)
9. 2020.2.中旬 「工場見学」(場所未定)（第 48 回）

恒例の「初詣」と「新年会」

成井正浩　（鳩山町）

1月11日(金)午後、川越巡りと初詣に22名が参加しました。川越の地名は、鎌倉時代にこの地を治めた武士・河越氏に由来し、河越重頼の娘が源義経の正室になるなど幕府の御家人として権勢を誇りました。その後、この地を本拠とした上杉氏家臣の太田道真・道灌父子が河越城を築き、城下町が形成されていきました。

江戸時代には川越藩となり、江戸の北の護りとして重視されて、藩主には有力大名が配置されました。寛永15年（1638年）の大火後、藩主となった松平信綱により、隅田川支流である新河岸川(しんがしがわ)の舟運と城下町が整備されました。地元の特産品が江戸へ運ばれ、帰りの舟で江戸からは最新の文化が持ち帰られ、商人の町川越は小江戸と呼ばれて幕末まで賑わいました。

明治 26 年の大火で中心街の大部分が焼失し、川越の商人たちは、耐久性・耐火性に優れた蔵造りを用いて街を再建しました。今も残る蔵造りの街並みは、当時の商家の名残りであり、江戸の情緒を今に伝える小江戸川越の観光名所となっています。

地元大野さんが用意した資料や解説で、喜多院・本丸御殿・氷川神社・菓子屋横丁・おびんづるさまで名高い蓮馨寺(れんけいじ)など、川越の見どころを満喫しました。丸々三時間歩いたお陰で、坂戸に席を移して平松さんの段取りによる「安兵衛」新年会では、冷えたビールが極上の味わいでした。

氷川神社で亥年の参加者による集合写真では、22 名中 8 名が亥年と知れて、驚きでした。

通　知　**第25回「埼玉会ゴルフ会コンペ」**を下記により開催致しますので、ゴルフ会会員の皆様はじめ、会員以外の皆様におかれましても、ゴルフのお好きな方はぜひエントリーをお待ちしています。

開催日時　2019年3月22日(金)　中コース　8:22スタート
開催場所　川越グリーンクロス　TEL 049-236-1211
〒350-0002 埼玉県川越市古谷本郷 865-1
参加費用　3，000円
プレー費　概算総額 10，000円（プレー費、昼食代、税金等）
連絡先　ゴルフ会幹事 萩埜迄　携帯電話 090-3147-8347
Eメール t.hagino227@jcom.zaq.ne.jp

《埼玉俳壇》

胸に抱く破魔矢の鈴の鳴りやまず

地畑 朝子

花言葉

梅の花

堰　（ペンネーム）

梅の花は、どうしても「東風吹かば匂いおこせよ梅の花主無しとて春を忘れそ」の歌と共に、九州大宰府の菅原道真公の飛梅伝説が浮かびます。それは、我が人生にも多少なりとも昔の職場を偲ぶ世界があるからです。

花言葉は、「気品「澄んだ心」他沢山ありますがどれも上品です。また、梅は早春の花木として実梅（南高梅等）と花梅として全国的に愛されています。

埼玉には越生梅林等 14 ヵ所の名所がありますが、和歌山県が圧倒的に多い様です。

そこで皆さん、梅干しを食して百歳に挑戦しましょう。

会員の写真作品紹介コーナー

（第２回）

埼玉会会員の作品（写真）をご紹介します。
カメラ趣味の方と腕自慢の方、作品をご投稿ください。
抽選により１点づつご紹介させていただきます。

No.3　**鈴木 勇氏**　（さいたま市）

「秩父連峰を望む夕陽」

自宅マンションの 12 階から撮影
日の出は「筑波山」を、日没は「秩父連峰」を望めます

個人会員増強運動

会員対策委員　**関谷一郎**

新入会員が少ない状態が続いており、30 年度末はかろうじて 100 名超をキープする見込みです。会員のみなさまのイベント参加はもちろん、お知り合いの方へのイベントへのお誘いなど、引き続き、会員増強にお力添えくださるようお願いします。

JARP には年齢・性別、現役・退職者を問わず、どなたでも入会できます。

入会については、埼玉会事務局までご連絡ください。ご本人に直接、資料をお送りします。

また、協会ホームページからも入会申込みが可能です。

日退協ＵＲＬ⇒　http://jarp.or.jp/

第 41 回「歴史と文化の香り漂う足利を訪ねる」

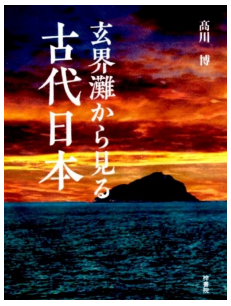
地畑健吉（鶴ヶ島市）

平成 30 年 11 月 22 日(木)、歴史と文化の街・足利を訪ねました。参加者は 19 名。史跡・文化財―織姫神社、国宝鑁阿寺、史跡足利學校と足利の街並みを堪能した一日でした。229 段の階段を登って拝む織姫神社の朱塗りの社殿は緑に映えて一段と美しく、1300 年の歴史をもち、足利の産業と縁結びの神様として市民に親しまれていることが伺えました。「大日さま」と親しまれる足利氏ゆかりの鑁阿寺は、国宝大御堂の他、鐘楼、楼門、東門、西門、多宝塔、経堂、宝庫、御霊殿など全てが国などの指定文化財であり、これらの拝観は歴史を訪ねるのに相応しかった。日本最古の学校「足利學校」は、参観料を払って全員「入学証」が授与され、入学が許可。孔子廟、方丈、庫裡、書院、旧遺跡図書館、庭園などを見学、自学自習の精神を今に伝える教育の原点を伺い知ることができました。全行程約６ｋｍと強行軍であったものの、参加者一同感嘆のなか無事に帰路につきました。

埼玉会の会員 **高川博氏**（さいたま市）が、書籍第２弾を上梓しましたのでご紹介します。

～～古代史の本 **「玄界灘から見る古代日本」**～～

日本の国の成り立ちを考える場合、朝鮮半島や中国大陸との関わりを抜きに語ることはできない。



本書はそのウチとソトを結ぶ舞台であった対馬海峡（玄界灘）に座標軸を据えて、そこを行き交う人々やモノに焦点を当てて古代日本の姿を復元しようとしたものです。

考古学界の泰斗である西谷正先生（九州大学名誉教授）からのご推薦も頂いております。

発売：　2019 年 1 月 15 日より
定価：　1,800 円＋税
出版：　梓書院　･･･全国有名書店にて取扱

発行者　公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会
代表幹事（兼事務局）　畠山忠昭
事務局　〒332-0031 川口市青木 1-22-17-902
TEL&FAX　048-259-5917
e-mail　jarp_saitama@yahoo.co.jp

《埼玉俳壇》

焚火の輪見知らぬ子等が知らぬ間に

地畑朝子